



令和7年4月1日

学校経営の基本方針

藤本高雄

もっと

みんな

楽しい大手の小学校

<目指す学校像> 「もっと」「みんな」楽しい大手の小学校

令和7年度は、重点目標を「共生社会をつくる子供」と設定する。そして、「共生社会をつくる子供」に必要な資質・能力を「多様な情報を基に構成される“知識や概念”」「知識や概念を活用・統合する“認知能力”」「意思や感情といった“非認知能力”」の3つに整理し、その核となるものを「コアスキル；認知能力」「コアマインド；非認知能力」とする。そして、これら「コアスキル」「コアマインド」を基盤とし、意図的・計画的に育成する教育課程編成に取り組む。

「コアスキル」「コアマインド」の育成を通して、「楽しい大手の小学校」の具現を図りたい。本年は、「もっと」「みんな」を強調し、特に「コアマインド」の育成に力を入れ、「共生社会（自立を含む）をつくる子供たち」を育てていく。

同様に、教職員同士や保護者・地域との間でも「もっと」「みんな」を大切に、「共生社会」を理念・基盤とする学校の具現を目指したい。

<学校経営方針>

1 「これまで」「これから」を大事にした教育活動の推進

- ・「これまで」の大手町小のよさを生かす
 - * 「探究」を中核、「ふれあい」を基盤に据えたカリキュラム創り
 - * 子供の「思い」や「願い」を重視した教育活動の展開
- ・「これから」の教育を見据えた取組に確実に取り組む
 - * 「チーム担任制」を色濃く出した学年経営
 - * 「非認知能力」の育成
 - * 「脱カリキュラムオーバーロード」「時数削減」への挑戦
 - * 働きがいが高まる「業務改善」

2 地域の住人の学校への愛着や誇り・期待に応える学校運営

- ・地域の教育資源を活用した活動や地域への発信の充実を図る
- ・同軸化の理念を具現する

3 当たり前のことを誠実に実行する職員集団

- ・「子ども中心」で団結し、明るくさわやかに取り組む職員集団
- ・お互いの持ち味を尊重して、協力して取り組む職員集団
- ・凡事徹底・日常重視：子ども・家庭・地域からの尊敬・信頼

思いをもち、目の前の子供を大切にしていって取り組む

もっと みんなで **楽しい大手の小学校** ～学校の魅力アップ～

子供にとって 保護者にとって 地域にとって 教職員にとって
＜大切にしたいこと＞

- ◇職員（子ども）一人一人をよく知り、強みを生かす
- ◇地域に入り、地域（子ども・学校・保護者・地域等）を知り、かかわる
- ◇職員全員が、大手町小で働いていることに「誇り」「やりがい」「充実感」「愛着」を感じる学校にする
- ◇「働き方改革」から「超働き方改革」「生き方・休み方改革」へ
 - ・効率化、合理化を意識した効果的な仕事の進め方
～大事なことは何かを見極める、メリハリをつける～
 - ・「年次有給休暇」の計画的な取得と「特別休暇」の積極的な取得